

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009仙第100号	
事故等種類	衝突（消波ブロック）	
発生日時	平成21年5月29日 05時50分ごろ	
発生場所	新潟県新潟港 新潟空港護岸消波ブロック付近 (概位 北緯37°57.5′ 東経139°06.0′)	
事故等調査の経過	平成21年9月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 第28^{ことぶき}寿丸、10.11トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 AM2-4681（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船首部船底外板き裂	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、新潟県佐渡島西北西方の漁場でいか釣り漁を終え、新潟港西区に向けて針路約130°、速力約10ノットで自動操舵として帰航中、単独で船橋当直に当たっていた船長が居眠りに陥り、平成21年5月29日05時50分ごろ、新潟空港護岸消波ブロックに衝突した。</p> <p>本船は、自力で新潟港に入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：平穏</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、新潟空港護岸付近を漁場から帰航中、単独で船橋当直中の船長が、徹夜で操業して疲れがあったことから、気の緩みにより居眠りしたため、新潟空港護岸消波ブロックに衝突したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が新潟空港護岸付近を漁場から帰航中、単独で船橋当直中の船長が気の緩みにより居眠りに陥ったため、新潟空港護岸消波ブロックに衝突したことにより発生したものと考えられる。	